

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一道 第68号

発行:2019年7月17日  
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺  
副住職 天野英昭  
〒739-0147 東広島市八本松西6丁目10番1号  
TEL・fax(082)428-0160・(082)428-1360

## 盆会法座

日時 8月1日(木) 9:00~15:00頃

朝席 9:00~11:30 昼席 13:00~15:00

ご講師 山下瑞円 師(岡山県高梁市成羽町 浄福寺副住職)

## 磯松天龍寺墓苑並びに合同墓(永代供養墓)合同参拝

日時 8月12日(月) 18:00~19:30

場所 磯松天龍寺墓苑

※ 大変お忙しい時期とは存じますが、多数のご参拝を念じ申し上げます。  
但し、天龍寺墓苑での合同参拝は、関係者の方のみとさせていただきます。

★天龍寺仏教壮年会 月例会 7月31日(水) 19:00~20:30

川上連合法座に多数の参加並びに準備等にご協力賜わり感謝申し上げます。

今月の7月7日(日)に当山で、川上連合法座が行われました。当日は、多数の参加を頂き大変有難いご縁をいただいたと思っております。

また、演奏会にはエリザベート音楽大学の小畑先生、亀田さん、平井さんをお招きし、素晴らしい演奏会にいただきました事も感謝していることでもあります。

この法座を開催にするに当たり、早くから天龍寺仏教婦人会のみなさまにはご尽力を賜りました事、書面をお借りし厚く感謝申し上げます。さらに天龍寺仏教壮年会のみなさまにも、当日も含め、境内地の草刈り。準備等にご尽力をいただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

車いすスロープの修繕をしていただきました。

先月、天龍寺仏教壮年会のみなさまには、車いすのスロープの一部が壊れており、修繕して頂きました。度々ご足労をおかけし、この点も厚く感謝申し上げます。

天龍寺仏教壮年会のみなさまとは、修繕中には作業も含め、多くの事を共有させていただき、多くの思い出もいただいたことでもあります。この10年間の中で、本当の多くの事を共有させていただいていますこと重ねて厚く感謝申し上げます。

## それぞれの花には、それぞれの輝きがあるのかもしれませんが。

人間を花にたとえると人にも様々な花があると思います。私の好きな桜であったり、バラであったり、絢爛豪華な牡丹であったり、さらには田んぼの畦あぜに咲いている小さな花であったりと思う事があります。しかしながらどの花にもそれぞれに輝きがあるとこの点も還暦を過ぎしみじみ感じる事があります。

しかし、比較の世界・限りのある世界に生を受け、競争社会に生きていますと、ともすれば周りから違う花になる事を職場、はたまた私の様に退職しましても地域・家族等に求められ苦悩することもあると自分の拙い61年の人生を振り返り考える事があります。

仮に田んぼの畦で咲いている花が自分だと仮定をしますと、今申しました様に時に別な花である桜の輝きを求められ、一方でその求めに応えようとして努力・精進しながらも、周囲からとやかく言われ、時に落ち込みさらには挫折 失望、絶望感を味わう事もあると思う事でもあります。

残念ながら私たちは、比較の世界に生きているゆえに勝った・負けた、得した・損した、役に立つ・役に立たない、仕事出来る・仕事出来ない等の評価を受けながら、日々その価値観に一喜一憂しながら生きていかななくてはならない宿命を背負いながらの人生であるとも偉そうに考える事もあります。

ある方が「人間にはそれぞれに輝きがあるが、なぜにその輝きが見えないかと言えば、それは自分にとって得か損か、役に立つか役に立たないか、といった自己中心的な価値観で人を見るから、それぞれの輝きが見えない等」とご教示をいただいたことがあります。その際に謙遜ではなく私自身の見方であると考えさせられたことがありました。

阿弥陀さまは絶対の世界から「あなたはあなたのままで良い」と呼びかけてくださいます。挫折・失望等をした折には、決して自己満足ではなく、その時、その時に自分なりの輝きを放ちながらの生き方・人生で良いのではないかとこの歳になって少し思えるようになりました。

重ねて申しますが、「あなたはあなたのままで良い」という呼びかけを自分なりに心の拠り所にこの人生を生きていけば、勝った・負けた、得した・損した、役に立つ・役に立たないと日々翻弄されながらも、ある方の言葉をお借りしますと、心の奥底で少しどこか安らかな人生を送れるとも知性のところでは理解をすることもありますが、一方でなかなか自分には遠い世界の事だと感じる事もあります。

当山で毎月勉強会をさせていただいておりますが、その席で先生が「人間の価値観でいう所の良い事も、悪い事も含めすべてのご縁を南無阿弥陀仏のご縁としてこのどうにもならない人生を歩いていきなさい。」とご教示をいただくことでもあります。娑婆の言葉の如くこの境涯は歯を食いしばって生きていかななくてはならない境涯であり、みなさまにおかれましては、今申しました様になかなか難しい事ではありますが、すべてのご縁を大切にされながら一度の人生を歩まれます事を念じ申し上げるしだいです。

最後に、当山で咲く桜の花でも、どれ一つとして同じ花はありません。以前、「世界でたった一つだけの花」という歌があったと記憶しておりますが、それぞれのみなさまには年代・環境によって咲き方・色合い・輝きは違うと思います。私の様に還暦を過ぎ、20代、30代の輝きは放つ事は出来ませんが、それぞれに日々意図しない・願わない置かれた場所で精一杯の自分なりの輝きを放たれん事を重ねて念じ申し上げます。